

議決権行使レポート

証券コード 7011

会社名 三菱重工業

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 監査等委員でない取締役7名選任の件			
宮永 俊一氏	○		
泉澤 清次氏	○		
加口 仁氏	○		
小澤 壽人氏	○		
小林 健氏	○		
平野 信行氏	○		
古澤 満宏氏	○		
第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件			
徳永 節男氏	○		
鶴浦 博夫氏	○		
森川 典子氏	○		
井伊 雅子氏	○		
第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件			
岡 伸浩氏	○		

上記の推奨をした理由

第1号議案に関して、私は賛成である。三菱重工業は前年度から30円増配し、連結配当性を33.5%まで押し上げている。連結配当性30%を目処に株主還元を行うという基本方針をクリアしているため私は賛成である。

次に、第2号議案に関して判断理由を述べていく。

・宮永俊一氏：保有する自社株数が多い。取締役在任年数も15年と長く、取締役の仕事に精通していることが予測される。また、推薦理由に記載がある通り、豊富な業務経験を有しているため会社への理解が深いことも予測される上、その他推薦理由も理にかなっているように思えるため賛成である。

・泉澤清次氏：保有する自社株数も少なくなく、取締役会への出席割合も10割と申し分ない。現在三菱重工業の業務執行体制における最高責任者であり、経営の指揮をとるものとして経営意思決定に参画することが、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するという推薦理由に説得力があるため賛成である。

・加口仁氏：保有する自社株数は多くないが、長年原子力発電所システムの技術開発や事業運営に携わるなど豊富な業務経験を有し、CEOの下で会社全体の戦略を立案・推進している経験を有することから泉澤氏との相性の良さも予測される。成長分野の事業拡大等を担当しており、成長戦略の立案・推進担当者として経営意思決定に参画することが、時速的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するという推薦理由に説得力があるため賛成である。

・小澤壽人氏：財務担当として経営意思決定に参画するに足る財務・経理に関する業績を保持しているため賛成。

・小林健氏：社外取締役の独立性基準を満たし、独立役員としての届出も済んでいる。Sy社外取締役候補者として理由及び期待される役割の概要に記載されている内容が全て理にかなっているように感じられるため賛成である。

・平野信行氏：賛成理由は小林氏と同様である。事業費の寄付関係にあるが、「独立性に関する事項」に記載の通り、寄付金額は基準を満たしているので独立性を保っていることも賛成理由の一つである。

・古澤満宏氏：小林氏に対する理由と同じ理由で賛成である。

第3号議案に対する判断理由を述べる。

・徳永節男氏：三菱重工業の根幹と言える技術開発部門の強化への貢献と深い理解、豊富な業務経験の所持、その他「取締役候補者とした理由」に記載されている理由全て賛成理由である。

・鶴浦博夫氏：独立性もあり、「社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要」に記載されている理由より、賛成である。

・森川典子氏：鶴浦氏と同様の理由で賛成である。

・井伊雅子氏：鶴浦氏、森川氏と同様の理由で賛成である。

最後に第4号議案に対する判断理由を述べる。

「補欠の社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要」及び独立性から賛成である。